



### 笑顔あふれる

#### 各地域で夏祭り開催

地域恒例の夏祭りが7月下旬から8月にかけて、各公民館や地域の公園などで行われ、家族連れなどの笑顔であふれました。北新山区夏祭りでは、カラオケやフラダンス、子ども会のダンスショー、ひょっとこ踊り、スイカ早食いなど14の催しがあり盛り上がりしました。出店には消防団や子ども会などが焼きそばや焼き鳥、フランクフルト、カレー、生ビールなどを提供。催しや総踊りの練習など準備から手作りで取り組み、温かい雰囲気が流れていました。



大人のスイカ早食いに盛り上がる北新山区住民

### 熊本の粘り強さと元気を届けたい

#### 熊本大津リトルシニアチームが全国大会出場

J A 共済杯2016全国選抜リトルリーグ野球九州連盟大会の決勝戦が7月16日、長崎県佐世保市で行われ、熊本大津リトルシニアチームが見事優勝しました。町内在住の武蔵ヶ丘中1年生の小崎健志郎さん、坂口優斗さん、宮田宗慶さん、菊陽中部小6年生の新垣治太さんの全国大会への出場が決定しました。宮田さんは「苦戦しましたが力を合わせて優勝を勝ち取ることができました。全国大会では熊本の粘り強さや元気を全国にお届けできるよう頑張りたい」と意気込みました。



「元気なプレーを見せる」と話す熊本大津リトルシニアチーム

### 子どもたちを喜ばせたい

#### おはなしポケット「スペシャルおはなし会」

武蔵ヶ丘小ボランティア・おはなしポケットの皆さんが7月1日、スペシャルおはなし会を武蔵ヶ丘小学校多目的室で行いました。おはなしポケットは、武蔵ヶ丘小保護者、元保護者12人で構成しているボランティアチーム。毎週月曜日は朝の読み聞かせをしていましたが、熊本地震後に学校が再開すると連日読み聞かせをして子どもたちの心のケアに努めました。

今回のスペシャルおはなし会は2回目で、1、2年生を対象に学年別に実施。『ロウソクの歌』をみんなで歌い、大きな絵本、紙芝居、歌いながらのパネルシアターと続き、最後はメンバーが考案した特別シナリオで『プレーメンの音楽隊』の朗読劇を熟演しました。子どもたちは、みんなキラキラと目を輝かせ、おはなしの世界の中へ。終わった後は『おはなしポケット』の皆さんと笑顔でハイタッチをしていました。

おはなしポケットの村吉るみさんは「みんなで役割分担し、それぞれに仕事や家事の合間を縫って準備をしました。子どもたちが喜んでくれることを一番と考えて活動しています」と笑顔で話しました。



1「プレーメンの音楽隊」の朗読劇。声に感情を込めて演じるおはなしポケット 2紙芝居「なんにもせんこん」。愉快なおはなしに子どもたちも笑みを浮かべる 3「子どもたちを喜ばせたい」と活動を続けるおはなしポケットの皆さん



地震の影響で休館中だった菊陽町図書館ホールのプレオープンイベント「Quatuor Bコンサート」を7月27日に開催しました。ホール初のみんなでできようトコンサートに出演したメンバーは「縁が深い菊陽町の復興を手伝いたい」と5年ぶりに来訪。「情熱大陸」や「ラテン・メドレー」など8曲を演奏し、サクソフォンの奥深い音色で、訪れた150人を魅了しました。メンバー伴奏の中、観客3人が飛び入りで歌声を披露するなど和やかなコンサートとなりました。



「菊陽町は第二のふるさとです」(Quatuor B)

### 音楽で復興支援 Quatuor Bコンサート

菊陽町社会福祉協議会は7月21日、光の森町民センターで講演会を行いました。震災復興とこれからの地域づくりにつなげることを目的で対象は区長と民生委員の皆さん。講師の淡路市社協事務局次長・尻保憲さんは自身の阪神大震災の経験を交えながら「住民同士が支え合うことが大切。仮設住宅と周辺地域との交流が高齢者の見守りにつながる」と話しました。出席者からは「住み慣れた地域で安心して暮らすには顔を合わせて話し合うことが大切」との意見が出ました。



「人は学ぶことで気付き変わる」と話す尻保憲さん

### 今こそ思う、つながりの大切さ 平成28年度菊陽町地域福祉講演会

### 童話の魅力を伝えよう 菊陽町童話発表大会

菊陽町童話発表大会を8月4日、菊陽町図書館ホールで開催しました。大会には町内小学校から選ばれた12人の児童が参加。保護者や審査員、観客など約100人が見守る中、お気に入りの童話や民話などを、本を持たずに表情豊かに堂々と発表しました。観客は「物語の情景が浮かんでくる」と聞き入っていました。菊陽西小5年生の坂梨仁彦さん、同小6年生の黒鶴真心さんが最優秀賞を受賞。9月3日に菊池市開催の菊池郡市童話発表大会に菊陽町代表として出場します。



最優秀賞を受賞した坂梨仁彦さん(左)と黒鶴真心さん(右)

### 夜の図書館でわくわく読書 図書館お泊まり探検隊

町主催講座の図書館お泊まり探検隊を8月19日・20日、菊陽町図書館で行いました。町内在住の小学生、中学生の計30人が参加。子どもたちは絵本3冊の読み聞かせや音楽ボランティアぐるぐるのコンサートを真剣に聞き入ったり、好きなだけ本を読んだり楽しんでいました。武蔵ヶ丘小5年生の川島咲彩さんと小中咲季さんは「夜の図書館でたくさん本を読んだり演奏を聞いたり、今までのことないすごい経験をしているなと思う。とても楽しい」と目を輝かせていました。



「たくさん読んでうれしい」とお話の世界を楽しむ